

令和 2 年度川崎町社会福祉協議会事業報告

総 括

地域福祉を推進する中核的な団体として「誰もが自分らしく安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を基本に地域福祉事業・介護サービス事業に取り組みました。令和 2 年度は、コロナウイルスによる感染拡大防止により地域福祉推進事業では、人が集まる事業についてはほぼ、中止や活動自粛が続きました。介護保険事業所においてもコロナ禍による消耗品や消毒液などの物品の高騰や品不足により入手困難な状況が続きました。

このような状況の中、事業継続に向け感染予防対策を徹底し事業の展開を図りました。一人暮らし高齢者の方への支援としてはほのぼの会を開催し、人数を制限し密にならない工夫や、少人数でのスノーバスター活動を行いました。防災福祉教育プログラムでは、昨年からの事業で先生と振り返りを行いながら企画し、災害時に備え何が大切かを一緒に学びました。

今後においては、感染予防対策を講じながら事業の展開が望まれます。事業継続計画を作成し、感染症や自然災害が発生時において重要な事業を中断させない、または可能な限り短い時間でのサービスの提供が安定的に提供できるよう努めてまいります。

事業計画で示した 4 つの重点目標については、本会が目指す目標に向かって、具体的な事業実施項目を掲げ次のとおり活動を展開してきました。

1. 地域福祉活動計画の策定

令和 2 年度においても策定委員会の開催が出来ず、川崎町地域福祉計画の第 2 期が次年度迎えるにあたり、社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」を合わせて策定するため、業者依頼を行い令和 3 年度において策定することといたしました。

2. 地域に根ざした支援体制づくり

コロナ禍において、各地域においてはサロン活動等の自粛などが相次ぎました。ふれあいネットワーク事業では、事業継続していくためマスク・消毒液・手袋の着用等、感染防止対策を講じながら活動を行ってきました。前年度同様の活動数で新規利用者の増加も見られ、地域での支えあい活動の活性化に向けた取り組みに繋げていけるよう事業の展開を図ってきました。

3. 働きやすい職場づくり

年 5 日の年次有給休暇の取得など、働き方改革の取り組みと職員の処遇改善や質の向上のため、研修会の企画を行いました。コロナ禍において大人数での研修会は出来ませんでした。しかし、コロナ感染防止対策のための研修会を開催し、感染防止を講じた「新型コロナウイルス感染症に係る職員行動指針」を策定し、職員に周知しました。今後においても感染防止対策を徹底しながら職員が安心して働けるよう職場環境改善に向け努めてまいります。

4. 組織体制の運営強化・充実

介護保険事業所においては、コロナ禍による消耗品や消毒液等の品不足や、物の高騰などにより、入手困難を極めました。また、通所介護事業所においては、密を避けるための対策として、テーブルに飛沫防止パネルを設置し席数を減らして対応しました。財政状況においては、コロナ禍により感染予防対策等で利用者の増加が上半期は見込めませんでした。徐々に利用者数が増え、感染者を出さずに事業を継続することが出来ました。

I. 地域福祉の推進

1. 地域福祉推進事業

1) 地域福祉ネットワーク事業

今年度においてはコロナ感染防止により事業の縮小や中止が相次ぎました。イベント事業については中止にし、サロン活動は状況をみながら活動を再開しましたが、参加者は例年と比べると少ない状況ですが、感染予防に努めながら事業を進めてきました。ふれあいネットワーク事業については、感染予防対策を講じながら事業継続に努めました。

事業名	実施月日	内 容	備考
① ケアネット活動	随時	有償ボランティア活動（窓ふき、掃除、整理整頓等） ・利用者(令和2年度利用なし)	活動件数 0件
② ボランティアフェスティバル	中止	コロナ感染防止のため中止	
③ サロン活動推進事業	月1回開催	ボランティア友の会による「お茶っこ飲み会」の開催 ※4～6月は中止、7月から再開	延べ： 124名
④ 災害時要援護者マップ作成・把握	随時	民生委員定例会時において、要援護者マップ作成・把握	
⑤ 安心カードの作成・配布	随時	民生委員と連携しながら一人暮らし高齢者へ安心カードの配布・把握 ・一人暮らし高齢者 190名 ・二人暮らし高齢者世帯 13世帯	
⑥ 認知症に関する事業への協力	年間	認知症地域推進員連絡会議 1回、認知症サポーター養成講座 2回、	
⑦ コミュニケーション麻雀の推進	随時	1) サロン活動等へ出前講座の開催。 ・コロナ感染防止のため中止	
⑧ 広報誌の発行	年間	「社協だより」広報誌年間4回発行 (No.85～No.88)	
⑨ ホームページの更新	年間	ホームページは、ブログ等で情報発信・更新	
⑩ 日常生活支	年間	1) ふれあいネットワーク事業	

援総合事業 の実施	年間	利用者数：15名、活動員数：16名 年間活動数：561件 2) ふれあいネットワーク事業運営委員会の開催。運営委員会0回 ※ 詳細は22P～23P参照	書面確認
--------------	----	--	------

2) ボランティアセンター事業

ボランティアセンター事業においては、ボランティアについての相談やボランティア保険に関することや情報提供を行いました。他団体への協力については、コロナ感染防止による行事の中止が多く、活動できない状況が続いております。

事業名	実施月日	内 容	備考
① ボランティア団体等の調査・情報提供	随時	ボランティア団体等の調査・情報提供	団体
② ボランティアの登録と斡旋業務	随時	登録ボランティア 28名	
③ ボランティア保険受付業務	随時	ボランティア保険に関すること ・ボランティア保険加入 409名 ・行事保険加入 2件	
④ 釜房ダム周辺清掃活動協力	中止	川崎町の資源をいかす会主催事業への協力（釜房ダム周辺での清掃活動）	
⑤ 青根温泉感謝祭への協力	中止	ボランティア友の会・柴田農林高等学校川崎校生徒よりボランティア協力	
⑥ 収集ボラ活動	随時	使用済み切手、書き損じハガキ、使用済みテレカ、ペットボトルキャップの取りまとめ ・使用済み切手、ハガキ、使用済みテレカ等…NPO 法人誕生日ありがとう運動本部へ送付（2回）	延べ： 69件
⑦ 有償ボランティア活動	随時	草刈り、窓ふき、掃除、整理整頓等の活動…利用無	
⑧ 災害時のネ	年間	仙台都市圏域社協災害 VC 協定によ	

ネットワーク構築・災害VC運営		る担当者会議2回、幹事会1回、合同研修会1回、情報伝達訓練1回	
⑨仙南地区社協連絡会	年間	仙南地区社協連絡会による監査、総会、事務局長会議1回	
⑩県南地区社協連絡会	年間	県南地区社協連絡会協定による総会、事務局長会議1回	
⑪災害ボランティアセンター支援	随時	災害時において、災害ボランティアセンター設置した際、運営支援を行う	

3) 福祉教育推進事業

コロナ禍において交流体験については、すべて中止となりました。キャップハンディ体験や、防災福祉教育プログラムでは、感染予防対策を講じながら行いました。防災福祉教育プログラムは今年で2年目を迎え、昨年の反省を踏まえながら実施しました。

実施月日	学校名	内 容	備考
①キャップハンディ体験			
7月28日	富岡小学校	福祉体験学習（点字体験）	3年生12名
12月11日	第二小学校	福祉体験学習（視覚障がい体験・点字体験・白杖体験等）	全児童43名
②福祉体験学習の開催			
中止	町内小学生を対象	夏休み・冬休みの期間に福祉体験学習の開催を行う	
③デイサービスセンター利用者との交流			
中止		デイサービスセンター利用者との交流を図る。	
④防災・ふくし教育プログラム			
9月17日 10月7日 10月22日 11月4日 11月25日	富岡小学校	1) 防災ビンゴ 2) 非常持出袋の中身はどんな物？ 3) 危険予知トレーニング 4) 避難所体験 5) バーチャルマップ作り	5年生13名
事業名	実施月日	内 容	備 考
⑤福祉教育推進事業助成	6月～9月に申請	小中学校へ福祉教育推進事業として助成を行う（1校あたり20,000円の助成）川崎第二小学校、前川小	申請：5校

		学校、富岡小学校、川崎中学校、富岡中学校	
⑥ ボランティアフェスタへの協力	中止	コロナ感染防止のため中止	
⑦ スノーバスター活動	1月16日	中高生による雪かきボランティア活動 ・柴田農林高等学校川崎校生徒24名登録 ・川崎中学校生徒9名登録	対象者：3名 参加者：10名
⑧ 柴田農林高校川崎校ボランティア部の活動	6月～3月	柴田農林高等学校川崎校ボランティア部による、主に川崎町デイサービスセンター内における清掃・花壇や畑の草むしり レクリエーション活動時に利用する物品の作成・飾り付け等	1～3年生 16名

4) 見守り支援ネットワーク事業

民生児童委員協議会と連携を取りながら事業の展開を図っております。子ども見守り事業での防犯ブザー配布については、万が一に使えるよう、乾電池の交換や定期的な点検をしてもらおうよう、配布時に文書で声掛けをし、活用してもらっています。

事業名	実施月日	内 容	備考
① 民生委員児童委員活動の推進と連携の強化	年間	定例会の開催（月1回） 3部会による活動（年間）	10回
② 民生委員・小中高・警察連絡会議	7月29日	民生委員と学校関係者、警察との連絡会議を開催（健康福祉センター）	
③ 児童公園遊具危険箇所調査	中止	民生委員（児童福祉部会）による公園遊具危険箇所の点検調査	
④ 民生委員朝の声掛け運動	定例会時の朝に実施	町内小中学校へ訪問し、朝の声掛けを行う	10回

⑤防犯ブザー等の配布	4月に配布	町内の小学校新入学児童に対し、防犯ブザー等の配布	対象者：49名
⑥熊よけ鈴の配布	4月に配布	町内の小中学校新入学児童・生徒に対し、熊よけ鈴の配布	対象者：120名

5) 地域福祉型福祉サービス

スノーバスターズにおいては、2年ぶりの活動となりました。毎年、中高生の方に多くのボランティアの登録をしてもらっており、今年は活動することができました。コロナ感染防止対策を講じながらのため、参加人数を制限しての活動となりました。

事業名	実施月日	内容	備考
①介護機器短期貸出し事業	随時	冠婚葬祭、小旅行の際に、車イス、補聴器の短期間無料貸出し	利用件数 0件
②ケアネット活動	随時	有償ボランティア活動（窓ふき、掃除、整理整頓等） ・利用者(令和2年度利用なし)	活動件数 0件
③スノーバスターズ	1月16日	一人暮らし高齢者等を対象に、中高生による雪かきボランティア活動支援 対象者：3名、参加者：10名	
④善意銀行の預託と払出	随時	町民の善意（労力、技術、物品、現金）の預託と払出 ・物品預託48件 ・払出16件 ・現金寄付11件（157,711円） ※詳細は、28P～31P参照	
⑤社協物品貸出し事業	随時	レクリエーション機材、テントなど無料貸出し	13件

6) 受託事業

①福祉有償運送移送サービス事業

在宅での支援を目的に、障がいを持っている方、高齢者等介護保険で認定を受けた利用者等（主に介護度1～5）を対象に、町内外の通院、入退院の際に移送サービスを行いました。

- ・利用件数 280件
- ・利用登録者 107名（身体障がい者20名、要介護者87名）

- ・車イス対応車輛での利用 270 件
- ・寝たきり（ストレッチャー）対応車輛での利用 10 件

※ 詳細は、24P 参照

②配食サービス事業

一人暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、栄養バランスを考えた食事を提供するとともに、利用者の安否確認に努めました。

- ・一人暮らし高齢者 12 世帯
- ・高齢者世帯等 10 世帯
- ・配食数 延べ 1,987 食

※ 詳細は、25P 参照

③放課後児童教室運営

放課後における小学 1 年生から 6 年生まで昼間保護者のいない家庭の児童に、健全な遊びを通じて、情操を豊かにするための育成に努めました。

- ・川崎児童教室登録児童者数 104 名
- ・今宿児童教室登録児童者数 34 名
- ・碓石児童教室登録児童者数 21 名
- ・前川児童教室登録児童者数 12 名

※ 詳細は、26P～27P 参照

7) 当事者等支援事業

一人暮らし高齢者の支援として、ほのぼの会を開催しました。感染防止対策により人数を限定しながら開催しました。講師は、保健福祉課保健師でコロナ禍による自宅での生活が中心となっているため、健康についての講話と、体を動かすレクリエーションを企画し実施しました。法外支援サービスにおいては、コロナ禍により利用自粛によって昨年より支援回数が減少しました。

事業名	実施月日	内 容	備 考
①一人暮らし高齢者のつどい	中止	65 歳以上の高齢者を対象に、日帰り旅行・会食を行う。	
②ほのぼの会	11 月 18 日	「講話・レクリエーション」 講師：保健福祉課 秋葉敦子 氏 参加者：13 名、協力：7 名	
③非常持ち出し袋の配布	1 月 20 日	一人暮らし高齢者の方へ、非常持ち出し袋を配布 ・新規対象者 14 名 更新者 13 名	
④寒糰づくり	中止	寒糰づくりを通し地域のネットワークづくりを図る。	

⑤交通・海難・ 労災遺児への 支援	1月20日	1) 交通・海難・労災遺児を対象に、 経済的支援を行う 1名あたり15,000円の商品券を贈呈	対象者： 2名
⑥福祉のつどい 支援	中止	川崎町しょうがい者連絡協議会主催 による「福祉のつどい」参加協力	
⑦青少年健全育 成事業	年間	町内小中学校支援学級の児童生徒を 対象に学級活動助成を行う ・第二小1名、前川小1名、川中4 名	対象者： 6名
⑧火災等災害見 舞事業	随時	火災や、災害等で住宅が損壊した世 帯に見舞金を贈る。(社協30,000円) ・全焼 1件	
⑨生活困窮者へ の支援	随時	善意銀行による緊急時の食糧支援 フードバンク協定における食糧支援	支援： 4件
⑩法外支援在宅 サービス	随時	現行制度の谷間にある対象者に対 し、訪問介護員の派遣や、通所介護 事業所の利用を図る ・通所介護：5名 84回 ・訪問介護：0名 0回	対象者： 5名 利用数： 84回

8) 共同募金委員会事業

①赤い羽根共同募金運動

○10月1日から実施した赤い羽根運動は、1,455,570円の募金額となり
全額宮城県共同募金会へ送金しました。

※ 詳細は、32P 参照

②歳末たすけあい運動

○12月1日～31日に実施した歳末たすけあい募金運動は、各団体等から
のチャリティー募金や、篤志募金などで75,000円が集まり、次年度の子
ども見守り事業へ配分されます。また、川崎町婦人団体連絡協議会よりタ
オル、バスタオル、シーツ類の寄付をいただき、施設等へ配布しました。

※ 詳細は、33P 参照

③共同募金による配分

○地域福祉事業…川崎町社会福祉協議会へ 826,165円

④その他の活動・会議・研修等

月 日	内 容	場 所	備 考
4月8日	各小学校へ防犯ブザー配布 ・新入学生 49名	各小学校	

5月26日	川崎町共同募金委員会監事会	福祉センター	2名
6月2日	川崎町共同募金委員会理事会	福祉センター	10名
6月29日	宮城県共同募金会評議員会		書面決議
7月30日	市町村共募事務局長会議	仙台市	1名
10月1日	広報誌「赤い羽根だより」発行	川崎町内	全世帯
10月1日～ 12月31日	赤い羽根共同募金運動実施	川崎町内	募金額 1,455,570円
12月1日 ～31日	歳末たすけあい運動（窓口募金受 付）	川崎町内	募金額 75,000円
1月20日	歳末たすけあい配分委員会	福祉センター	9名
2月22日	市町村共募担当者ミーティング	仙台市	1名
3月29日	宮城県共同募金会評議員会		書面決議

⑤災害義援金等受付窓口の設置

○むすび丸ピンバッチ募金…10,000円

⑥小規模災害見舞の交付

○火災や、災害等で住宅が損壊した世帯に見舞金を贈る。

・全焼…1件（30,000円）

9) 関係機関・団体との連携

町内の福祉団体の事務局を担っております。今年はコロナウイルス感染防止により多くの団体が活動を自粛せざるを得ない状況になっており、総会等においては、書面決議で開催するところが多くみられました。また、活動する団体においては、感染予防対策を講じながら、または規模を縮小したりしながら行っていました。

①川崎町民生児童委員協議会運営支援

月日	事業名	場所	内容
4月6日	役員会、監事会	福祉センター	元年度事業報告決算審議監査 2年度事業計画予算審議
	定例会総会 （書面決議）		元年度事業報告会計決算 2年度事業計画予算案
5月11日	県南ブロック民 児協連絡会理事 会	岩沼市	会長出席
6月23日	定例会	福祉センター	年間計画について
7月29日	定例会	福祉センター	学校・警察連絡会議 担当地区全世帯調査・整備
8月26日	定例会	福祉センター	生活福祉資金貸付制度について

			て
9月23日	定例会	福祉センター	訪問活動・相談活動の基本について
10月27日	研修会	福祉センター	「災害と民生委員～令和元年度東日本台風～」 講師：丸森町社協職員
11月18日	一人暮らし高齢者のつどい協力	福祉センター	6名参加協力
11月24日	定例会	福祉センター	事例検討（グループワーク）
12月22日	定例会	福祉センター	こども園入学予定児童諮問会 就学援助制度について
1月20日	定例会	福祉センター	就学援助費受給申請について 非常持出袋配布依頼
1月26日	県南ブロック民 児協研修会	岩沼市	2名参加
2月24日	定例会	福祉センター	避難行動要支援者について
2月	準要保護児童生 徒打ち合わせ	各学校	小中学校ごとに協議
3月16日	定例会	福祉センター	2年度部会事業報告について 3年度事業計画について

②川崎町ボランティア友の会支援

月 日	事 業 名	場 所	備 考
4月8日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	中止
4月20日	監事会・役員会	福祉センター	8名出席
4月27日	総 会（書面決議）	福祉センター	中止
5月	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	中止
6月5日	仙南地方ボランティア連絡協議 会正副会長会議	蔵王町	会長、事務局 出席
6月	お茶っこ飲み会	福祉センター	中止
6月9日	仙南地方ボランティア連絡協議 会 総会（書面決議）	蔵王町	中止
6月17日	定例活動会	福祉センター	20名
7月8日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	13名
7月10日	仙南地方ボランティア連絡協議 会第2回理事・事務担当者会議	蔵王町	会長、事務局 出席
8月6日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	12名
9月10日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	17名

10月14日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	14名
10月20日	友の会研修会	福祉センター	21名
11月5日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	12名
12月10日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	12名
1月7日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	15名
2月4日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	14名
2月19日	仙南地方ボランティア連絡協議会第3回理事・事務担当者会議	蔵王町	会長、事務局出席
3月3日	お茶っこ飲み会・定例活動会	福祉センター	15名
3月30日	友の会監事会	福祉センター	5名
3月30日	友の会役員会	福祉センター	11名

③川崎町身体しょうがい者福祉協会支援

月 日	事業名	場 所	備 考
4月30日	市町村身障協会会長・担当者会議	仙台市	会長、事務局出席
6月11日	監事会・役員会	福祉センター	5名
6月11日	川崎町しょうがい者連絡協議会総会出席	福祉センター	5名
6月	総 会（書面決議）		
10月27日	ふれあい講習会 ～コミュニケーション麻雀～	七ヶ宿町	2名
12月15日	役員会	福祉センター	6名
3月4日	市町村身障協会会長・担当者会議	仙台市	会長、事務局出席

④川崎町遺族会支援

月 日	事業名	場 所	備 考
6月7日	常磐台霊苑清掃奉仕	仙台市	1名
6月24日	監事会・役員会	福祉センター	5名
7月22日	総 会	福祉センター	8名

⑤仙南地方ボランティア連絡協議会支援（仙南7町による持ち回り）

月 日	事業名	場 所	備 考
6月5日	正副会長会議	蔵王町	2名
6月9日	総 会（書面決議）		
7月10日	第2回理事・事務担当者会議	蔵王町	2名
2月19日	第3回理事・事務担当者会議	蔵王町	3名

3月30日	監事会	福祉センター	名
3月31日	「ボランティア広報誌」発刊		600部発刊

⑥宮城県身体障害者福祉協会仙南地方連絡協議会活動支援

月 日	事業名	場 所	備 考
6月9日	第1回理事・事務担当者会議	福祉センター	2名
6月	総 会（書面決議）		
11月17日	第2回理事・事務担当者会議	福祉センター	2名
3月10日	第3回理事・事務担当者会議	福祉センター	2名

⑦心身障害児者親の会への支援…活動費助成

⑧母子福祉会への支援…活動費助成

⑨保護司会・更生女性会への支援…活動費助成

⑩川崎町老人クラブ連合会への協力…シニアスポーツ大会中止

2. 福祉サービス利用援助事業

1) 日常生活自立支援事業（まもり一歩事業）

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、判断が難しい方に対し、サービスを適切に利用し安心した生活を送れるよう支援しています。

具体的な支援は、毎月、生活支援員や専門員が生活費や公共料金等の支払いについて通帳からの出金管理を行っております。

○まもり一歩契約… 3名

対象者別	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
利用者（数）	0	1	2	0	3
支援回数（回）	0	7	38	0	45

2) 生活相談運営事業

生活相談員3名による日常こまごとの相談窓口対応

相談内容は、生活全般に関する相談では、一つだけではなく、複数の相談内容を含んでおり、すぐに解決できないケースなどもありました。また、生活保護受給までの食料支援で繋ぐケースもありました。

○実施場所 川崎町健康福祉センター

○開設日時 毎週水曜日 要予約制にて実施

○相談件数

年度	令和2年	令和元年	平成30年
相談件数	14	22	12

3) 法人後見事業

成年後見人として認知症高齢者、知的障がい者等の保護と権利の擁護に

努めました。主な支援内容は、生活費等の引き出しや、通院等の支払いを行っております。コロナによる施設訪問が難しいため、職員に利用者の状況確認を行いました。

- 成年後見（町長申立）…2名（被後見人1名、被保佐人1名）
- 支援内容…金銭管理・支払い、家裁との調整・報告、定期的な状況訪問
- 支援回数…【被後見人】金銭管理支援、月2回
【被保佐人】支払い支援、月2回

4) 各種福祉資金の貸付事業

①生活安定資金（川崎町社会福祉協議会）

生活困窮者に対し、生活の一時資金として、無利子で50,000円の貸し付けを行います。

- 相談件数…7件
- 食糧支援…4件
- 貸付状況…0件

②生活福祉資金（宮城県社会福祉協議会）

今年はコロナによる失業や収入の減による支援として、コロナウイルスによる緊急小口資金の貸し付けや、3ヶ月間支援する総合支援資金の貸し付け窓口をおこなっております。

- 貸付状況…緊急小口資金 41件、総合支援資金 35件（延長貸付、再貸付を含む）
- 償還状況…修学資金 1件、福祉費 1件、緊急小口資金 28件（東日本大震災による緊急小口資金貸付）

※詳細は、34Pを参照

③生活福祉資金調査委員会

- 健康福祉センター…3月26日 生活相談員との会議を開催

5) 苦情相談・解決窓口の開設

苦情解決の責任者及び受付担当を設置し、中立、公正な第三者委員とともに、提供するサービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めました。また、苦情までには至らず、インシデントとしての報告があり、再発防止についての検討をし、安心安全なサービスの提供に心がけました。

- 苦情受付件数… 1件
- インシデント報告…通所介護 20件、訪問介護 6件

II. 在宅福祉サービスの推進

1. 介護保険事業の推進

1) 居宅介護支援事業所

様々な身体状況により、何らかの介護が必要になった場合に、介護保険制度でどのような手続きでどのようなサービスが受けられるのかを説明し、本人や家族の要望に合わせて申請代行から、介護サービス計画作成を行い、スムーズなサービス利用と、安心して在宅での生活ができるよう支援を行いました。

○営業日…月曜日～金曜日

○要介護ケアプラン作成…月平均 57.4名

○要支援介護予防プラン作成…月平均 16.6名（町からの受託）

○認定調査依頼…2件（町からの受託）

※ 詳細は、35P 参照

2) 訪問介護・予防訪問介護事業所

要介護、または要支援者の状態にある高齢者等に対し、自宅へ訪問し、入浴、排せつ、食事などの身体介護や、調理、洗濯、買い物などの生活援助を行い、在宅で自立した生活、快適な生活ができるよう支援し、コロナ感染防止による対策を講じながら、サービスの提供に努めました。

○営業日…年中無休

○1日平均…11.7名

※ 詳細は、35P 参照

3) 通所介護・予防通所介護事業所

要介護、または要支援者の状態にある高齢者等に対し、デイサービスセンターを利用し、その方の能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況を踏まえながら必要な援助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的負担の軽減を図っております。コロナ感染防止対策では、席数を減らし密にならない工夫を行い、カラオケやトランプなどは自粛しながら、コロナ禍でも利用者に喜んでもらえるようなサービスの提供に努めました。

○営業日…月曜日～土曜日

○1日平均…25.4名

※ 詳細は、36P 参照

4) 障がい者デイサービスセンター受け入れ

障がい者枠として、障がいを持っている方のデイサービスセンター受け入

れを行っております。

○受け入れ日…毎週木曜日（祝日は休み）

○利用者…1名

Ⅲ. 法人運営体制の整備

1. 社協基盤の充実・強化

1) 社協組織の強化

職員の資質向上と福祉サービスの向上を目指し、事業の展開を図りました。コロナ禍において新型コロナウイルス感染症に係る職員行動指針を策定し、職員に周知しました。事業継続する際、感染予防対策の予防物品の高騰や品薄等、確保が困難を極めました。継続に必要な分の確保に努めました。

① 理事会・評議員会・監査等

月 日	区 分	内 容	備 考
4月21日	評議員選任解任委員会	・評議員選任候補者の選任について	委員5名
5月8日	評議員会	・理事選任候補者の選任について	評議員 25名
5月26日	監事会	・令和元年度事業及び会計決算監査	監事2名
6月2日	理事会	・令和元年度事業報告及び収支決算報告について ・評議員会の招集について	理事8名 監事2名
6月23日	評議員会	・令和元年度事業報告及び収支決算報告について ・理事の選任について	評議員 21名 理事2名 監事2名
7月30日	町の監査	・令和元年度実施状況及び会計決算について	監査員2名
10月13日	理事会	・新型コロナウイルス感染対策について ・副会長の選定について ・評議員選任候補者の推薦について	理事10名 監事2名
10月19日	評議員選任解任委員会	・評議員選任候補者の選任について	委員5名
12月17日	理事会	・新型コロナウイルス感染対策について ・令和2年度社会福祉事業会計補正予算	理事8名 監事2名

		(1次) について ・評議員会の招集について	
12月24日	評議員会	・新型コロナウイルス感染対策について ・令和2年度補正予算(第1次)について	評議員 22名 理事2名
3月2日	理事会	・令和2年度補正予算(2次)について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度予算について ・評議員会の招集について ・令和3年度川崎町児童教室事業等業務委託契約の締結について	理事9名 監事2名
3月16日	評議員会	・令和2年度補正予算(2次)について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度会計収支予算について	評議員 20名 理事2名
3月29日	理事会	・事務局長の任命について	理事10名
毎月1回	月次監査	・吉田税理士事務所による月次監査	

② 会議等

月 日	内 容	会 場	備 考
6月18日	川崎町児童教室運営協議会	児童教室	1名
6月24日	災害時相互協定連絡担当者会議	仙台市	1名
7月10日	市町村社会福祉協議会会長・事務局長会議	仙台市	2名
7月14日	地域密着型サービス事業運営推進委員会	福祉センター	1名
7月30日	市町村共同募金委員会事務局長会議	仙台市	1名
8月6日	地域福祉・ボランティア業務担当者会議	仙台市	1名
9月17日	高齢者見守りネットワーク事業委員会	福祉センター	1名
10月6日	仙台都市圏域社協災害VC協定担当者会議	仙台市	1名
10月15日	川崎町第3期健康かわさき21計画策定委員会	福祉センター	1名
10月21日	県南地域社会福祉協議会連絡会及び仙南地区社会福祉協議会連絡会議	村田町	1名
10月22日	要保護児童対策地域協議会実務者会議	福祉センター	1名
11月20日	仙台都市圏域社協災害VC協定幹事会	仙台市	1名
12月10日	川崎町第3期健康かわさき21計画策定委員会	福祉センター	1名
1月20日	認知症地域支援推進員連絡会議	福祉センター	1名
1月22日	仙台都市圏域社協災害VC協定担当者会議	仙台市	1名

1月26日	実務者連絡会	柴農川崎校	1名
2月18日	市町村社会福祉協議会事務局長会議	仙台市	1名
2月22日	市町村共同募金委員会担当者会議	仙台市	1名
2月24日	ボランティア活動保険総合補償制度事務説明会	オンライン	1名
3月4日	川崎町第3期健康かわさき21計画策定委員会	福祉センター	1名
3月4日	全国児童館・児童クラブみやぎ大会会議	白石市	1名
3月26日	生活相談所運営及び生活福祉資金調査委員会	福祉センター	1名
3月29日	宮城県共同募金会評議員会	仙台市	1名

③ 社協会員の加入促進

社協事業への理解普及とともに一般会員、賛助会員、団体会員の加入促進を図りました。

○一般会費数 2,324件

○賛助会費数 56件

○団体会費数 5件

※ 詳細は、20P～21P 参照

2) 職員体制の整備と資質向上

①法人研修・職員研修等

コロナ禍において研修会への参加は極力自粛しました。後半からはオンラインによる研修会の開催が増えてきましたが、必要な研修会への参加にとどめました。また、感染症対策の研修会を定期的を開催し、職員へ感染予防に努めました。

月 日	研 修 内 容	会 場	備 考
7月22日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	仙台市	1名
8月17日	福祉教育学習会	仙台市	1名
8月24日	高齢者施設等感染症対策研修会	大河原町	2名
8月31日	放課後児童支援員(資質向上)研修会	仙台市	1名
9月4日	福祉教育学習会	仙台市	1名
9月4日	放課後児童支援員(資質向上)研修会	仙台市	1名
9月11日	災害ボランティアセンター応援スタッフ養成研修	柴田町	1名
10月1日	生活支援コーディネーター養成研修	仙台市	1名
10月2日	生活支援コーディネーター養成研修	仙台市	1名

10月14日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	仙台市	1名
10月22日	放課後児童支援員宮城県認定資格研修	仙台市	1名
10月26日	ボランティアコーディネーター研修	仙台市	1名
10月29日	放課後児童支援員宮城県認定資格研修	仙台市	1名
11月3日	放課後児童支援員宮城県認定資格研修	仙台市	1名
11月6日	放課後児童支援員宮城県認定資格研修	仙台市	1名
11月10日	第2地域研修会	柴田町	5名
11月19日	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	仙台市	1名
11月26日	放課後児童支援員(資質向上)研修会	仙台市	1名
1月26日	第2地域情報交換会	柴田町	1名
2月8日	福祉教育学習会	仙台市	1名
2月10日	仙台都市圏域災害VC協定合同研修	仙台市	3名

②職員全体ミーティングの開催

月 日	内 容	備 考
8月26日	全体ミーティング ・高齢者施設感染症対策研修会の復命 ・新型コロナウイルス感染症への対応について ・その他	名
2月17日	全体ミーティング ・介護保険サービス従事者向けの感染対策に関する研修 ・緊急時、災害時連絡網について	名
2月18日	在宅医療・介護連携講演会	

③介護体験実習生の受入・協力

柴田農林高等学校川崎校や宮城県立支援学校岩沼高等学校川崎キャンパスにおける実習プログラムに基づく講義並びに現場実習を通じた福祉の知識習得向上に協力していましたが、コロナ感染防止による実習受け入れが中止となりました。